2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
54601	ボランティア実習 Volunteer　Training	教務委員（谷村和秀）		専門	1	選択	1・2年:前期後期

科目の概要

教育・保育関連のボランティア活動に関する体験学習に対して、単位を与えるものです。それぞれが担当教員の指導の下に一定の実績をあげたときに認定されます。したがって、テキストは設定しませんが、適宜その活動についての理解を深める学習は求められます。

学修内容	到達目標
① 社会貢献としてのボランティア活動を行う。	① 見返りを求めず、自ら進んで活動し、社会に貢献できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自身でボランティア先を選び、ボランティア実習ができる。
	働きかけ力	
	実行力	手順や方法を考えて、確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなく、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手に分かりやすいコミュニケーションができる。
	傾聴力	人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動はせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：保育実習・教育実習・施設実習
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
ボランティア実習を実施する際に、実習先の担当者に了解を得ること	・ボランティア実習を行うに当たっては積極的に行うこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
	平常評価	小テスト	0	①				
		レポート	90	①	✓			・ボランティア実習は45時間（ポイント）以上実施すること ・本学が指定するレポート用紙に、ボランティアの内容・学んだこと・感じたこと・考えたことを記入する。
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） 自身でボランティア先を選び、ボランティア実習ができる。 （実行力） 手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 （課題発見力） 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力） 物事を考える時に、固定概念に捉われることなく、いろいろな方向から考えることができる。 （発信力） 聞き手に分かりやすいコミュニケーションができる （傾聴力） 人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規則性） 遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動はせず、実習が円滑に進行するようルールを守ることができる
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
見返りを求めず、自ら進んで活動し、社会に貢献する。 S（秀）は90点以上、A（優）は89～80点	社会に貢献する。 B（良）は70点以上、C（可）は60点以上

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
	（1）体験学習的なボランティア ①単発型の体験学習（行事活動のお手伝いボランティアなど） ②宿泊型の体験学習：（障害児キャンプボランティアなど） ③定期継続型の体験学習：（障害者の在宅介護、施設介護の補助、地域活動など） （2）研修会への参加 体験型の研修会への参加は、福祉・保育に関連するボランティア活動に関する内容のものを対象とする。 （3）その他広く福祉・保育に関連した活動および業績 ＊、これらの活動については、ボランティアが原則となるので、交通費、食費などの実費以外の給与・報酬などが支払われていない活動を対象とする。 担当教員の指導のもとに学習を進めること。体験学習などの現場で指導を仰ぐ場合も、担当教員への報告は必要である。	実習	・下記の方法による４５ポイントの学習活動と担当教員の課すレポートの提出を持って単位取得の要件とする。 （1）体験学習的なもの ①単発型の体験学習：半日で４ポイント、１日で８ポイントとする。（行事活動のお手伝いボランティアなど） ②宿泊型の体験学習：１泊２日で２４ポイントとする。（障害児キャンプボランティアなど） ③定期継続型の体験学習：１時間で１ポイントとする。（障害者の在宅介護、施設介護の補助、地域活動など） これらは、かかわった記録を担当教員の指示に従い提出すること。 （2）研修会への参加 体験型の研修会への参加で単位のためのポイントにあてようとするときは、福祉・保育に関連するボランティア活動に関する内容のものを対象とする。詳しくは事前に担当教員に確認をとり、指導を受けること。１時間の研修受講につき２ポイントとする。 （3）その他広く福祉・保育に関連した活動および業績 担当教員が上記にあたると判断したものについて認める。ポイント計算については内容によってその都度、担当教員が判断するものとする。	（予習） ボランティアの目的や内容を確認する。 （復習） レポートを作成する。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力